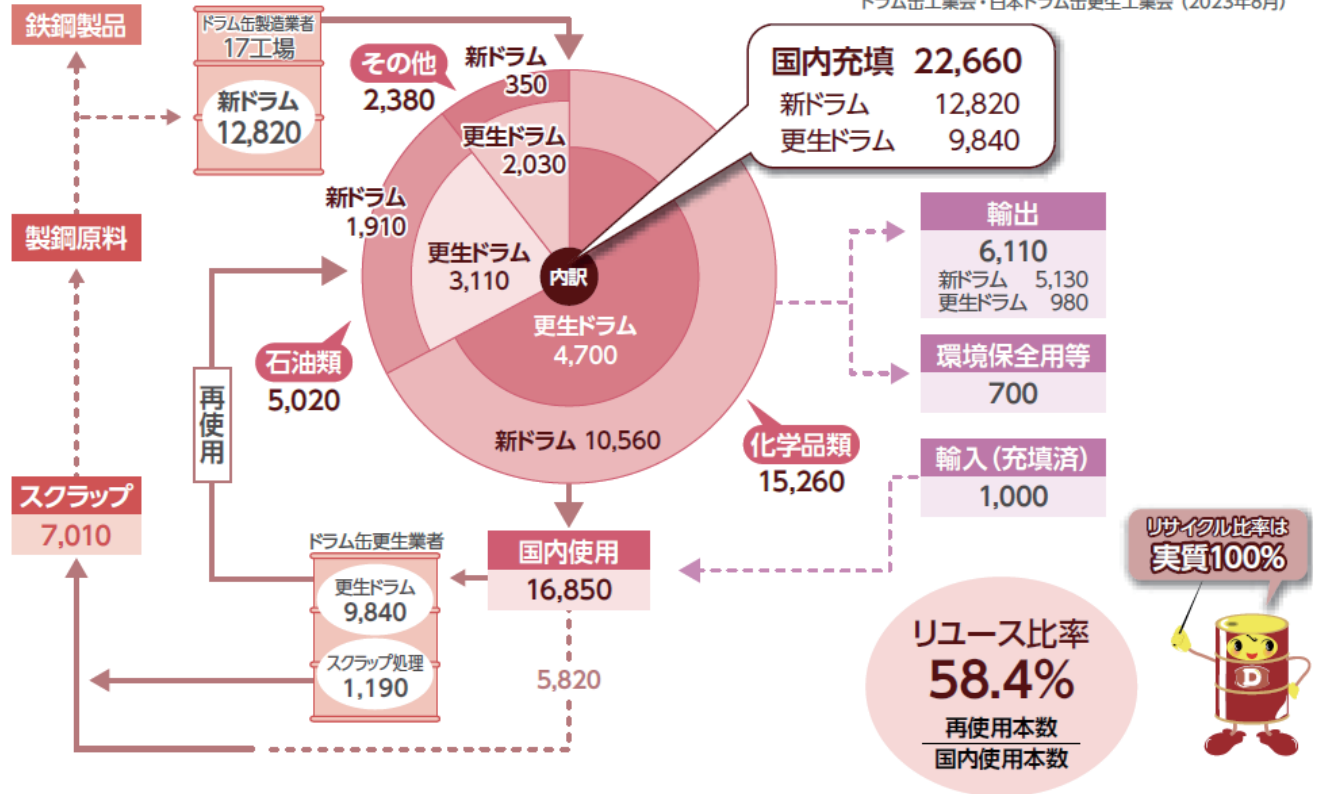


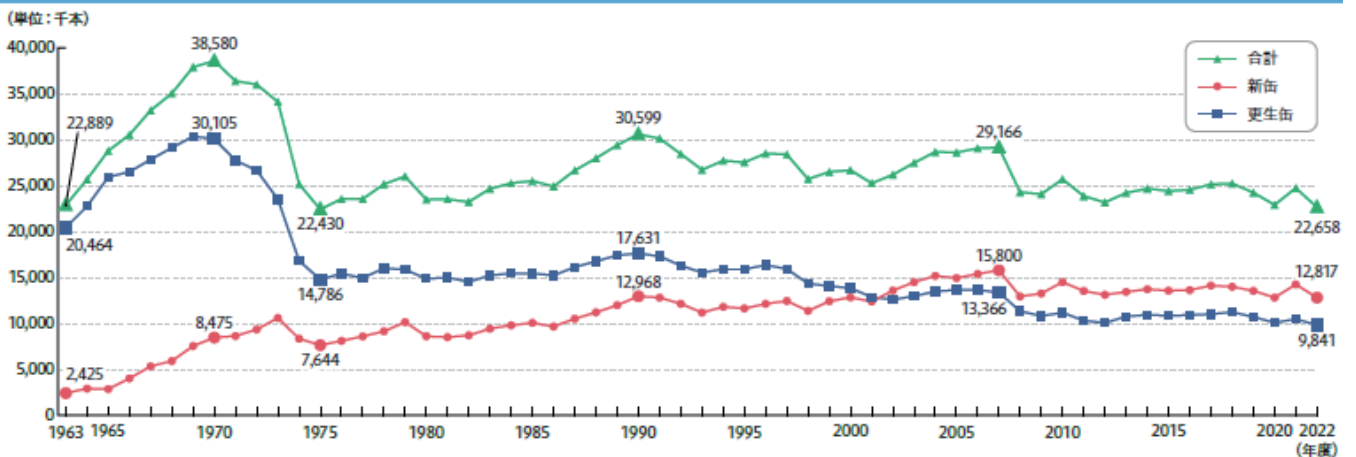
## 200L鋼製ドラム リユース&リサイクルフローチャート (2022年度ベース 単位:千本)

ドラム缶工業会・日本ドラム缶更生工業会 (2023年8月)



	当初(1997年)	2017年度ベース	2018年度ベース	2019年度ベース	2020年度ベース	2021年度ベース	2022年度ベース
工場数	新ドラム 18工場	16工場 (変わらず)	16工場 (変わらず)	16工場 (変わらず)	16工場 (変わらず)	16工場 (変わらず)	17工場 (+1)
製造本数	新ドラム 12,000千本	14,130千本 (+3.6%)	14,000千本 (▲0.9%)	13,560千本 (▲3.1%)	12,820千本 (▲5.5%)	14,260千本 (+11.2%)	12,820千本 (▲10.1%)
	更生ドラム 16,000千本	11,020千本 (+0.9%)	11,240千本 (+2.0%)	10,720千本 (▲4.6%)	10,090千本 (▲5.9%)	10,480千本 (+3.9%)	9,840千本 (▲6.1%)
国内充填	28,000千本	25,150千本 (+2.4%)	25,240千本 (+0.4%)	24,280千本 (▲3.8%)	22,910千本 (▲5.6%)	24,740千本 (+8.0%)	22,660千本 (▲8.4%)
国内使用	26,000千本	18,700千本 (+2.1%)	18,820千本 (+0.6%)	18,080千本 (▲3.9%)	17,070千本 (▲5.6%)	18,290千本 (+7.1%)	16,850千本 (▲7.9%)
リユース比率	61.5%	58.9% (▲0.7%)	59.7% (+0.8%)	59.3% (▲0.4%)	59.1% (▲0.2%)	57.3% (▲1.8%)	58.4% (+1.1%)

## 200Lドラム缶市場動向推移 (1963年度~2022年度)



(注) 1. 千本以下四捨五入。 2. 1963年度の新缶生産本数は不明につき、生産トン数67,002トンと1965年歴年平均単量27.63kgで逆算して算出した。